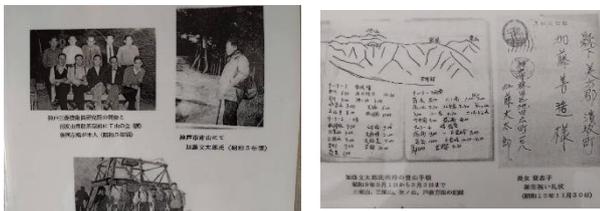


07月22日(土)開催 第3233回例会  
 兵庫県山岳連盟同調  
 バスハイク/ふるさと兵庫 100山

「**観音山**と**加藤文太郎**記念館へ」に参加して  
 布引支部 南 雅世

7月22日(土)7時に新神戸集合。お弁当とお茶を受け取って、快晴の中、出発しました。バスツアーは、いつも小学生の遠足気分です。

今回の主役＝加藤文太郎って・・・?なんか聞いたことあるけど(もちろんヒヨコに入会してから) 何した人やろ?くらいでした。



すると、席に着くや否やパンフ資料を配布して下さい、又、道中、加藤文太郎にまつわる写真パネル資料を回覧して下さいと、記念図書の入館前に、加藤文太郎氏について知ることができました。

暫く行くと、車窓から見える兵庫百名山の山々を吉野名誉会長が次々にご紹介下さいました。

でも辺りは山だらけ。どれ～?あれ～?と必死で目を凝らしている間に通り過ぎてしまうのですが、登ってみたい! 気持ちは強く掻き立てられました。



ゴダイサン(五台山)縦走、アワガ(粟鹿)山、、、初耳の山を書き留めるのにも必死でした。竹田城も見えました。

途中、“道の駅ようか但馬蔵”で休憩しました。ここには新鮮野菜がたくさん並んでいて、皆さんカゴを持ってお買い物! バスに置いておけるので、これもバスツアーならではのお楽しみです。

そして出発から約3時間後、ついに記念図書館に到着。加藤氏が使っていた登山道具や写真、手帳などが展示されていました。



手帳には道中の時間、持ち物、山のデッサンなどが詳細に記されていて、何に対しても真摯に取り組み、向き合う几帳面な人となりを読み取れました。

記念館見学後、登山組と観光組の別行動で、私は登山組に参加しました。



蝉の声を聞きながら民家を縫って、脇道に咲く花ニッコウキスゲ、クルマユリなどなど、保久良の木村支部長に教えていただきながら15分ほど歩いて登山口へ向かいました。

そのすぐ側の相應峰寺は、西暦737年行基により開かれたそうです。



そこからの道中、たくさんの石仏に見守られながら登りました。途中にある梵鐘では3回鳴らすと幸福が訪れるということで、名誉会長はじめ3名の方々が皆様の代表として撞いて下さいました。



そして245mの観音山登頂！



素晴らしい景色のおかげで、猛暑の山歩きのヘトヘトがいっぺんに吹き飛びました。

眼下のまち歩き組に向かって「おーい！」  
(^o^)/ 届いたかな？！



そして、支部ごとにベンチや木陰を選んでお弁当タイム。山頂では、そよそよと心地よい風が火照った体を冷やしてくれました。

観光まち歩き組の皆さんは、散策しながら美味しい海の幸を味わってこられたそうです。それから、近くの温泉で汗を流したあと帰途につきました。

バスの中では、大人の遠足に早変わり。ビールに日本酒に焼酎におつまみ、園田会長から

エビの差し入れまでいただきました！とっても甘くて美味しかったです。ご馳走さまでした。

そんなこんなで、あっという間に三宮帰着。楽しい1日でした。

天 候：快晴

参加者：男性/18名女性/19名 計 37名

### ○「観音山登山 浜坂海岸組」須藤裕子

加藤文太郎記念館を見学した後、さあ～観音山へ!!の予定でしたが、今回は急遽海岸散策組に参加しました。

というのも、浜坂を訪れたのは35年・・・ぶり。その時は両親も健在で懐かしくなり、浜坂の海岸を歩いてみたいと思ったからです。サンビーチに沿った四阿の下でお弁当をいただいて、ジオパークをめざしました。

海岸からは青空を背に観音山がその山裾を日本海に浸し、美しい姿となっています。

ジオパークではジオラマや映像室で美しい浜坂の風景のビデオを見た後、山組の皆様と合流すべく急ぎ文太郎記念館に戻りました。

海産物もおいしく、海岸沿いの松林はキャンプ場となっており、またゆっくりと訪れたいと思いました。

山組と同様、暑い！暑い！楽しい1日となりました。

